

兵庫県保険医協会 神戸支部 職員接客研修会のご案内

患者接遇の基本

～笑顔と心遣いのコミュニケーション～

兵庫県保険医協会神戸支部
支部長 田中 孝明

医療機関では、患者さんが安心して頼ることのできる職員とのコミュニケーションが求められており、接遇の質の向上が、医療への信頼と医院の印象を一層高めることにつながります。神戸支部では、新人スタッフだけでなく、ベテランの方も含めた職員教育の一環として接客研修会を毎年開催し、好評をいただいています。今年も元大手前短期大学教授の水原道子先生をお招きし、すぐに実行できる接遇のポイントをはじめ、スタッフへの迷惑行為やクレームの対応法をわかりやすくお話いただきます。ぜひご参加ください。

なお、年2回の研修実施が求められている医療安全管理研修会の一環のため、受講者には受講証を発行させていただきます。

- 日 時 5月18日(土) 14:30~16:30
- 会 場 兵庫県保険医協会第1・2会議室
- 講 師 元大手前短期大学 教授 水原 道子 先生
- 参加費 1人 1000円
- 定 員 80名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

※お問い合わせは、078-393-1809 神戸支部担当: 前川まで

神戸支部職員接客研修会(5月18日)申込書 (FAX: 078-393-1820までご返信ください)

●地区[区] ●医療機関名[]
●TEL[] ●FAX[]

参 加 者 氏 名	職 種	経験年数
		年 カ月
		年 カ月
		年 カ月
		年 カ月
		年 カ月



※満席により受付ができない場合は、担当事務局から連絡させていただきます。

※受付完了、及び、会場案内地図は開催日の一週間前にFAXさせていただきます。

兵庫県保険医協会

323号 2019年3月25日

神戸支部ニュース

発 行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

医療安全管理研修会 感想文

感染対策を徹底し 地域の医療安全に貢献したい



効果的な感染防止策を紹介する土屋先生

神戸支部は2月16日、協会会議室で医療安全管理研修会を開催。「外来における院内感染対策」をテーマに神戸医療センター呼吸器内科部長の土屋貴昭先生が講師を務め、49人が参加した。司会を務めた加茂統良先生の感想を紹介する。

去る2月16日、兵庫県保険医協会会議室にて神戸医療センターの土屋貴昭先生を招いて医療安全管理研修会が開催されました。私は未熟ながらも司会の大役を兼ねて受講させていただきました。

講演は、100人中99人が感染対策を講じて、一人が怠るとそこが感染の源となり院内感染を

起こさしてしまうため、医療機関に携わる全員が正しい感染予防策を理解することの大切さを説くことから始まりました。

そして、ウイルスから細菌、真菌に至るまで、効果的な感染予防策について具体的かつ実践的な環境整備や清掃方法、そして必要な用具や備

(2面へつづく)

(1面からのつづき)

品をその正しい使用方法とともにとても分かりやすく教えていただきました。

私が今まで行ってきた、誤ったあるいは自己流の感染対策を反省すると同時に、院内に備品として置いている使い捨ての手袋やマスクの減りが早いと、それらの購入経費の増加ばかりが気になっていた心の狭い自分にも気付かせていただきました。

今回の講演の終了後、何度も使い回していた布製のフキンを廃止して、机や処置台の細菌除去に効果的と教えていただいた環境クロス（第

四級アンモニウム塩と界面活性剤含有の不織布）を新たに常備すべく注文し、流し台にぶら下げていた布タオルをケース収納式のペーパータオルに取り替えました。

さらには、手洗いや手指衛生の実行にあたりしばしば問題となる、いわゆる手荒れが生じた際には、ぜひ私の皮膚科を受診するようにと医院の宣伝まで加えていただき、私個人にとってもありがたい講演にさせていただけたことに感謝いたします。診療所レベルからの正しい感染対策にて地域の医療安全に貢献していきたいと思

【中央区 加茂 統良】

北区社保協第23回定期総会を開催で森岡支部幹事会が記念講演

病院小児科の閉鎖問題を語る

神戸北社会保障推進協議会は2月9日、北区すずらんホールで第23回定期総会を開催し、議案および予算案の採決と役員改選などを行った。

活動方針では、神鉄粟生線の存続、神戸電鉄の料金支援、北神急行の市営地下鉄化などの交通問題や、北区役所・鈴蘭台駅前再開発、兵庫商業の跡地利用など、まちづくり要求を軸に、国保や介護保険改善の運動に取り組むとしている。

記念講演は、支部幹事の森岡芳雄先生が「小児科医療から見る私達の医療・社会保障」をテーマに、協会が行った神戸市内小児科医療機関に対するアンケート調査結果を紹介。市内病院で小児科の閉鎖・縮小が強まっている状況の中で、3割の医師が「病床が足りているとは思わない」



小児科閉鎖の影響について講演する森岡先生

と回答しており、中小病院の小児科閉鎖が大きな影響を与えているとした。また、県下で進む病院の統廃合についてもふれ、統廃合による悪影響の実際を述べ、公立病院には果たすべき役割があると強調した。

兵庫県保険医協会神戸支部 研究会のご案内

日常診療でよくみる 手の疾患について

日時 4月20日（土）午後5時～

会場 兵庫県保険医協会5階会議室

(JR・阪神元町駅東口を出て南へ徒歩7分)

講師 独立行政法人労働者健康安全機構

横浜労災病院 副院長・運動器センター長

三上 容司先生

参加費 無料

人類が進化の過程で四つ足歩行から二足歩行になることにより、手は移動のための前足の役割から解放され自由を得た。人類の文明・文化の発展は、手の自由で創造的な働きによるところが大きいと言われている。私たちが普段何気なく使っている手にいったん何らかの障害が起きると、直ちに日常生活に不具合が生じる。その解決には、まず、障害の原因を突き止めることが重要である。

本講演では、腱鞘炎、変形性関節症、手根管症候群といった日常臨床で頻繁に遭遇する手の疾患について、整形外科、手を専門としない医師を対象に、その病態、治療法、専門医への紹介のタイミングなどを中心にわかりやすく解説する予定である。

【三上 記】

* お問い合わせは TEL 078-393-1809 神戸支部担当 小西・前川まで

【参加申し込み】 FAX 返信：078-393-1820 - - - - -

神戸支部 研究会に参加します

地区 _____ 医療機関・施設名 _____

お名前 _____ 職種 _____

TEL _____ FAX _____